

日本WHO協会 関西グローバルヘルス(KGH)の集い
オンラインセミナー第3弾(YouTube生配信)!

COVID - 19からの学びは国境を越えて

第1回(第15回KGHの集い)

保健ボランティア

なぜ、日本には活躍の場がないのか?

日時:2021年5月12日(水)19:00~20:30

話題提供

❖ 中村 安秀 氏 (日本WHO協会)

コメンテーター (五十音順)

❖ 小松 法子 氏 (創価大学看護学部)

❖ 佐伯 壮一郎 氏 (大阪大学医学部医学科)

❖ 島戸 麻彩子 氏 (University College London医学部医学科)

❖ 仲佐 保 氏 (シェア=国際保健協力市民の会)

● ミニ・パネルディスカッション

～話題提供者から～

COVID-19で外出制限が厳しくなり、医療者がコミュニティに入っていけないなか、**世界の多くの国では保健ボランティアが活躍**した。赤十字のボランティアが活躍したイタリア、医学生が診療の手伝いをした英国、平時から活動していた保健ボランティアが地域に密着し病院や行政と住民の間をつないだ多くの低中所得国。

なぜ、日本では保健ボランティアが活躍する余地がなかったのか? 医療崩壊の寸前で人手が不足している状況にもかかわらず、**平時のしきたりと論理**が優先する。この硬直した社会構造はジリアン・テットが『サイロ・エフェクト』で指摘した**高度専門化社会の罫**を彷彿とさせる。保健ボランティアの課題を真摯に追求することで、**変わらなければならない日本社会の姿**が見えてくるはずである。

参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/M9tBKTrJsF7TWFTW7>から、お申込み下さい。後日YouTubeのリンクをメールでお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会
kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

